

## 小中一貫教育モデル事業の取組について

### 「特定地域選択制」の実施

#### 1 令和4年度 北九州市小中一貫教育モデル校区について(いわゆる「分離進学」の状況)

| 小学校名  | 進学先の中学校名                |
|-------|-------------------------|
| 八幡小学校 | 中央中学校 (パートナー校)<br>大蔵中学校 |
| 皿倉小学校 | 尾倉中学校 (パートナー校)<br>中央中学校 |

#### 2 「分離進学」の課題 (小中一貫教育モデル校区における声)

- ・小中一貫教育のパートナー校と指定校が違う場合に、6年間を通してパートナー校と培った関係性や中学校のイメージ像が途切れる(パートナー校以外の学校に進学することへの不安の声あり)。
- ・指定校変更の要件に合致しないと、パートナー校への進学はできない。



**特定地域** (皿倉小校区は中央中が指定校になっている住所、八幡小校区は大蔵中が指定校となっている住所) に住む小学校6年生を対象に、パートナー校を許可校にする取組を実施する\*。

\*次年度以降の継続は、令和4年度の結果を踏まえて検討

#### 【確認事項】

- パートナー校を選択する方の増加具合
- 導入に伴う波及効果の程度 (地域、学校 (生徒数バランス、部活動など)、小中一貫教育、保護者・子どもなどの観点)

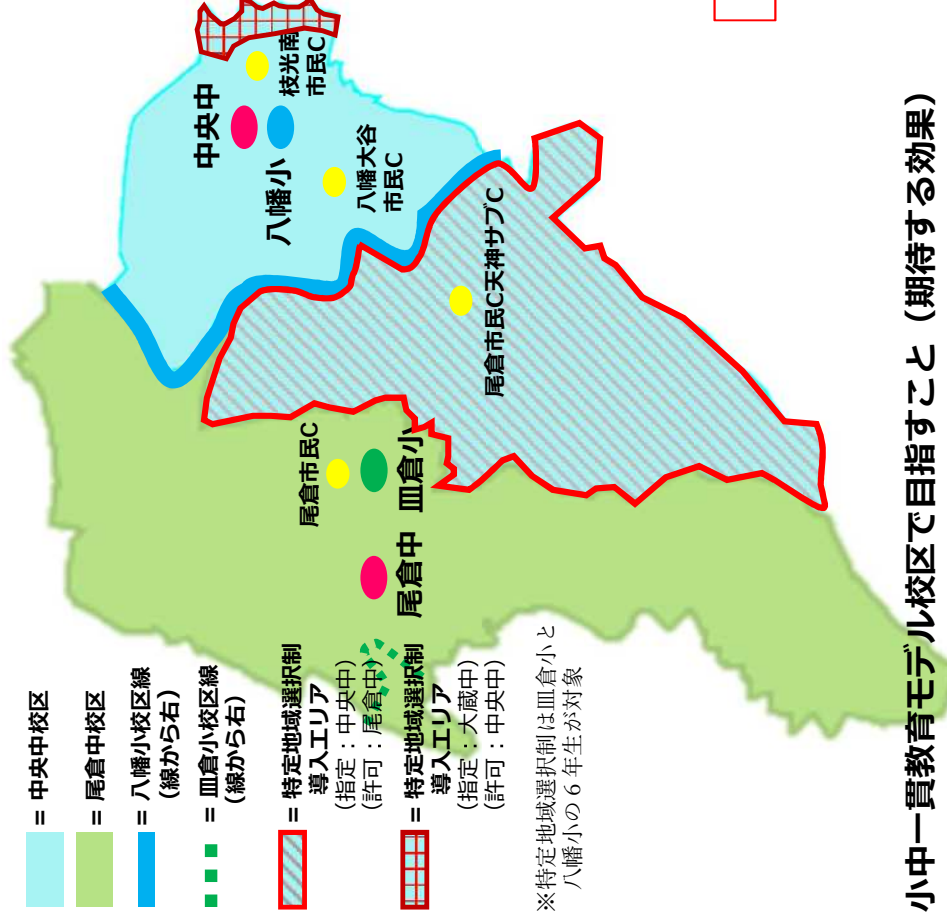
#### 《スケジュール (予定) 》

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| R4年 11月 | 対象児童の保護者への周知 (学校を通じて、案内文書を配付) |
| 12月     | 保護者が小学校に許可校制の申請意思を連絡          |
| R5年 1月  | 保護者が八幡東区役所で指定校変更届出書にて申請       |
| 4月      | 中学校に進学                        |

# 令和4年度 小中一貫教育モデル校区

**小中一貫教育**：学力向上、体力向上、小中ギャップの解消など、中学校区の状況を踏まえた教育目標・9年間で目指す子どもの姿を設定し、小中学校が義務教育9年間の教育課程や教育活動を一体的に捉えて指導・支援を実施するもの。

- = 中央中学校区
- = 尾倉中学校区
- = 八幡小学校区線 (線から右)
- = 血倉小学校区線 (線から右)
- = 特定地域選択制導入エリア (指定：中央中) (許可：尾倉中)
- = 特定地域選択制導入エリア (指定：大蔵中) (許可：中央中)



※特定地域選択制は血倉小と八幡小の6年生が対象

## 小中一貫教育モデル校区で目指すこと (期待する効果)

- ◎ 小中学校の教職員がチームワークで子どもを支え、小中ギャップの解消につなげる！
- ◎ 異学年や異なる学校種との交流を通じて、コミュニケーション能力の向上を図るとともに相手の気持ちを考え、行動できる子どもを育てる！
- ◎ 地域とタッグを組んだ学校運営により、子どもたちが地域に見守られて安心して育ち、成長し、将来の地域の担い手となる環境を整備する！

## ◇モデル校区選定理由

- ・東田ミュージアムパーク、新科学館、北九州英語村、世界遺産、八幡図書館、響ホール、JICAなど、近隣に豊富な地域資源がある。
- ・異なるモデルタイプでの実践が可能 (中央中学校区は施設隣接型、尾倉中学校区は施設分離型)
- ・小中を経験した管理職の配置 (両職種がわかる)
- ・特別支援学級の設置状況 (多様な障害種)
- ・部活動の在り方の研究がしやすい距離感 (中連携、合同・連携等の取組)

## 共通の取組事項：

- 校区の教員に小中の兼務発令 (どちらも自分の教え子という意識の醸成)
- コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) を活用し、地域との連携を密にした取組を積極的に展開する (合同の国型CS等)。
- 地域資源との連携を強化し、英語教育や国際交流、キャリア教育、SDGsの推進につなげていく。
- 小中のみならず、2校区合同事業や中中連携についても取り組む。

地域資源も有効に活用して  
学校や学年の垣根を超えた  
学びを充実

SDGsの視点

コミュニティ・スクール

北九州英語村



環境ミュージアム

八幡図書館

響ホール

世界遺産

東田地区

高等教育機関・JICA

# 小中一貫教育モデル事業の取組状況について

## 1 本市の小中一貫教育の方向性

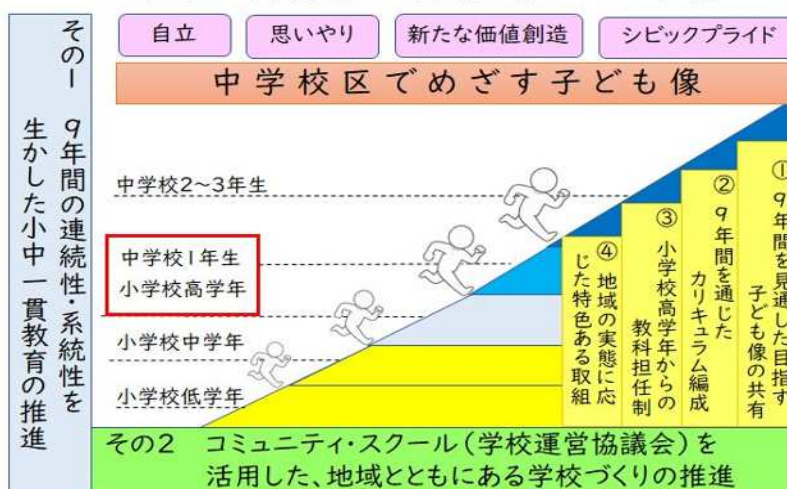
### ① 9年間の連続性・系統性を生かした小中一貫教育の推進

- ・ 校区で9年間を見通しためざす子ども像や目標を設定する。
- ・ 小中9年間を通じた、4-3-2の学年区分でのカリキュラムを編成する。

### ② コミュニティ・スクールを活用した、地域とともにある学校づくりの推進

- ・ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と小中学校が、目指す子ども像等の目標やビジョンを共有し、地域とともにある学校づくりを推進する。

小中一貫教育の方向性【イメージ図】



## 2 小中一貫教育モデル事業について

### ① 小中一貫モデル校区

- 中央中学校区(中央中学校、八幡小学校)【施設隣接型】
- 尾倉中学校区(尾倉中学校、皿倉小学校)【施設分離型】

### ② 検証期間 令和4年度から2年間

### 3 モデル校区（中央中学校区、尾倉中学校区）の具体的な取組

【令和3年】  
実態の把握

【令和4年  
4月】  
小中一貫  
教育の組織  
づくり

【5月】  
9年間を  
見通して  
目指す  
子ども像と  
具体的目標  
の設定

【6月】  
具体的な取  
組に対する  
熟議・情報  
の共有

## 1 9年間を見通した目指す子ども像の設定

### ① 地域や学校の実態を把握

年度末の学校運営協議会で、目指す子ども像や課題について共有し、次年度の学校運営方針に反映する。

### ② 組織体制づくり

### ③ 中学校区で、目指す子ども像と目標について協議

小中一貫教育の組織づくり  
組織の部会制度の立ち上げ 推進委員会、部会の立ち上げ

| 部会名   | 部会長    | 部会員                                   | 部会業務                |
|-------|--------|---------------------------------------|---------------------|
| 推進委員会 | 校長     | 教頭、教務主任、生活指導主任、保健体育主任、図書主任、情報主任、PTA代表 | 小中一貫教育の推進、部会制度の立ち上げ |
| 学芸部   | 教務主任   | 教員、PTA代表                              | 授業研究、教材研究、教科書研究     |
| 生活部   | 生活指導主任 | 教員、PTA代表                              | 生活指導、行事計画           |
| 保健体育部 | 保健体育主任 | 教員、PTA代表                              | 保健体育、運動会            |
| 図書部   | 図書主任   | 教員、PTA代表                              | 図書管理、読書推進           |
| 情報部   | 情報主任   | 教員、PTA代表                              | 情報教育、ICT活用          |



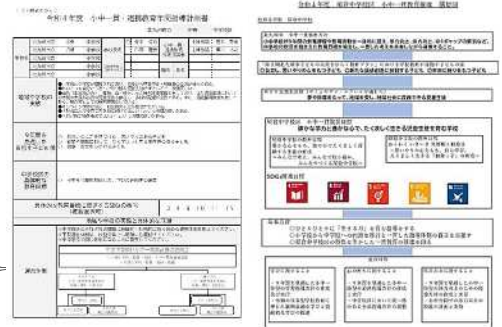
第1回 学校運営協議会の様子



学校長からの学校運営方針の説明  
(中央中学校区)



学校運営方針に対する承認  
(尾倉中学校区)



指導計画書  
(中央中学校区)

研究構想図  
(尾倉中学校区)

※ 指導計画書やスクールプランに位置付ける。

学校運営協議会を開催し、目指す子ども像を地域と共有する。小中一貫推進委員会を立ち上げ、目指す子ども像実現のための手だてについて協議する。  
例) 夢や目標をもって、地域を愛し、地域社会に貢献できる児童生徒(尾倉中学校区)  
例) 家庭や地域と連携し合い、豊かな人間性とたくましい体をもち、自ら学び考える子どもの育成(中央中学校区)

### ④ 情報共有

研修会及び部会での情報共有  
(中央中学校区)



全体会で、今年度の取組の方向性を共通理解した後、各部会で具体的な取組について話し合った。

小中合同研究授業を通じた授業づくりの情報共有(尾倉中学校区)



小学校の教諭が、中学生を対象に道徳科の研究授業を実施。その授業を基に、小中一貫教育における連続性・系統性ある授業づくりについて共通理解を図った。



## ⑤ 取組の実施

### 2 9年間を見通したカリキュラムの作成と教育活動の実施

A 乗り入れ授業  
(中央中学校)

B 小中合同の体力測定・  
挨拶運動(中央中学校)

C 学校の特色に応じた  
取組 小中一貫教育の  
研修(尾倉中学校)



D 4-3-2の学年区分での年間カリキュラムの作成と実施

・総合的な学習の時間における  
防災教育のカリキュラム作成と実施  
(中央中学校区)

・次年度のカリキュラム  
構想(尾倉中学校区)



高炉台公園での小中合同  
避難訓練の様子  
(感染拡大防止の観点  
から、地域との連携は  
中止)



| 学年       | 重点項目           | 学習内容   |
|----------|----------------|--|
| 中学<br>1年 | 防災教育の総合的な学習の時間 | 防災教育の総合的な学習の時間について学ぶ<br>① 高炉台公園・高炉台公園の防災、防災の重要性を知る<br>② 防災教育の重要性を知る<br>③ 防災教育の重要性を知る |
| 2年       | 防災教育の総合的な学習の時間 | 防災教育の総合的な学習の時間について学ぶ<br>① 高炉台公園・高炉台公園の防災、防災の重要性を知る<br>② 防災教育の重要性を知る<br>③ 防災教育の重要性を知る |
| 3年       | 防災教育の総合的な学習の時間 | 防災教育の総合的な学習の時間について学ぶ<br>① 高炉台公園・高炉台公園の防災、防災の重要性を知る<br>② 防災教育の重要性を知る<br>③ 防災教育の重要性を知る |
| 4年       | 防災教育の総合的な学習の時間 | 防災教育の総合的な学習の時間について学ぶ<br>① 高炉台公園・高炉台公園の防災、防災の重要性を知る<br>② 防災教育の重要性を知る<br>③ 防災教育の重要性を知る |
| 5年       | 防災教育の総合的な学習の時間 | 防災教育の総合的な学習の時間について学ぶ<br>① 高炉台公園・高炉台公園の防災、防災の重要性を知る<br>② 防災教育の重要性を知る<br>③ 防災教育の重要性を知る |
| 6年       | 防災教育の総合的な学習の時間 | 防災教育の総合的な学習の時間について学ぶ<br>① 高炉台公園・高炉台公園の防災、防災の重要性を知る<br>② 防災教育の重要性を知る<br>③ 防災教育の重要性を知る |



夏季研修で、次年度カリキュラム  
について構想している様子  
9月末日完成予定。  
今後は、可能な範囲で次年度カリ  
キュラムをプレ実施する。

令和4年度の各校での具体的なカリキュラム作成

【中央中学校区】 総合的な学習の時間を中心としたカリキュラムの作成

【尾倉中学校区】 教科や学習習慣カリキュラム等の作成

⑥ 目指す子ども像の実現に向けた地域との連携  
(10月ごろ実施予定)

⑦ 今年度の反省と次年度にむけた取組の構想(2月ごろ実施予定)

### 3 9年間を見通したカリキュラムの拡充と実施

○ 令和4年度までに実施していない教科等でもカリキュラムを  
作成し、随時、実施していく。

○ 学校運営協議会での協議の質を高め、地域協働活動を充実  
させることで、**地域の特色を生かした教育活動を推進**する。

【6月～  
現在】  
9年間を  
見通した  
取組の実施

【～年度末  
まで】  
振り返り  
分析

【令和5年  
4月～】